

平成三年八月二十七日発行

第二六三号

大豊町中央公民館編集
印刷高知印刷株式会社

大豊

館報

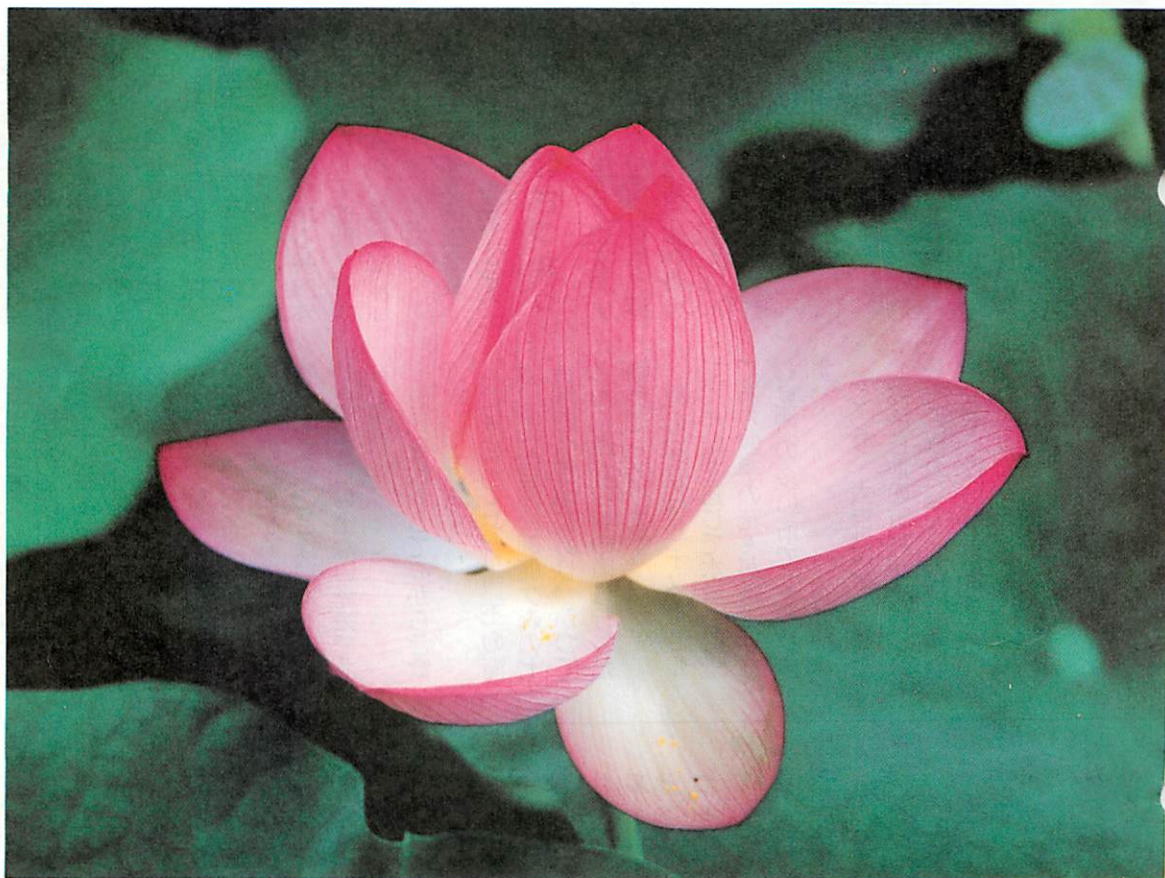
七月末の人口 世帯数

世帯 三、一五六戸

男 三、七二九人

女 四、二三九人

人口 七、九六八人



大豊町栗生・定福寺の原始蓮（古代蓮）約2300年昔の花

「おおとよ」愛唱歌

作詞 石川泰久
作曲 田村和郎

一、誰がために

命のかぎり春を咲く

あけぼのつつじ

ああ大豊の その名のごとく

我もまた 我もまた

こころ豊かに

いのちきらきら

今日を咲かそう

二、薬師堂

番所の跡も訪ねれば

歴史は深し

ああ吉野川 流れて清き

ふるさとの ふるさとの

誇りを胸に

いのちきらきら

今日を生きよう

三、夢古し

北山越えの夢開く

新たな道よ

ああひとすじの 光のごとく

我もまた 我もまた

未来を見つめ

いのちきらきら

今日を歩こう

◎この曲の楽譜又はテープをご利用の方は町教育委員会まで申し出下さい。

土佐三大名瀑サミット

日本の滝100選



県立自然公園梶ヶ森を有する大豊町において、日本の滝百選に選ばれた香北町「轟の滝」

歓迎のあいさつから

◎土佐三大名瀑協議会長
大豊町長 渡辺 盛男

平成元年度「緑の文明学会と緑の地球防衛基金」の主催により、全国から募集され「日本の滝百選」に選ばれた高知県の三町が主催で、去る七月二十一日、サミットが、梶ヶ森「龍王の滝」を主会場に開かれました。

当日は、朝早くから県内外から多くの参加者や観光客が訪れ終日にぎわいました。

町民を代表して心からご歓迎申し上げます。

ご承知のとおり龍王の滝は、県立自然公園梶ヶ森の七合目の名勝地にあり、かつて名僧空海が若年の頃修行した場所でもあります。

滝の落差は二十メートルで、年間を通じて水量も豊富であり四季の花々が咲きみだれ見所の多い所でもあります。

この度、大自然に恵まれた名瀑所在地の町村が一同に会し一致協力して、山岳観光の中心的な役割を果たしていくためには、名瀑の素晴らしさと自然保護の観点に立ち、強く発言しなければならぬと思います。

この『土佐三大名瀑サミット』

ト」が、盛会に実りある会議になりますようご協力をお願いいたしますとともに皆様方の町村の益々のご発展をご祈念申し上げ歓迎の挨拶とします。

「みどり維新を学ぶ」と題し、環境問題評論家 三島昭男先生による講演、午後からは、RKC高知放送顧問・小椋先生の司会で、サミットが開かれ、最後に満場一致で共同宣言を採択、盛会のうちに閉会されました。

共同宣言

日本の滝百選に「大豊町」の「轟の滝」「龍王の滝」が選ばれた関係者が山荘梶ヶ森に一同に会し「サミット」第一回土佐三大名瀑サミット会議が開かれた。

これを機会に三大名瀑所在地の三町が、ふるさとを誇り、自然に親しみながら親睦と交流、瀑との共存を図り人間性の回復と豊かな心を創出し、二十一世紀に向けて活力ある町づくりを推進するとともに高知県山岳観光の中心的な役割を果たすべく、具体的な施策として次の事項を実施する。

一、土佐三大名瀑協議会を通じ積極的に宣伝

活動や共通事業を行うとともに四国の名瀑所在地町村との広域的な連絡協力を図る。

二、土佐三大名瀑地周辺道路網その他、充実強化を行なうため財源負担等を国及び県に協力に要望する。

三、次期サミット開催地を越前町とする。

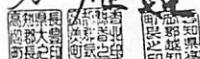
以上宣言する

平成三年七月二十一日

越前町長 前野 富雄

香北町長 野島 民雄

大豊町長 渡辺 盛男



小笠原雄吉さん

環境庁長官表彰受賞

館報二五一号・二五六号で紹介しましたが、黒石地区の保健班長を永年務められている小笠原さんが、その功績が認められ、環境庁長官表彰を受賞されました。

小笠原さんの業績は、地区住民の方々は良くと存じと思いますが、保健衛生活動・環境美化活動に永年、誠心誠意取り組まれています。

また近年は特に、「美しい環境づくり運動」に取り組み、県



花の手入れをする小笠原さん

止看板を設置するなど、環境美化啓発活動やＪＲ沿線・県道沿いにある花壇の手入れを行い、四季折々の花を植え通行人の目を楽しませてくれています。

こうした地道な取り組みが、私達の住む大豊町全体の「健康づくり活動・美しい町づくり活動」に大きく貢献するものと思います。

小笠原さん誠にありがとうございます。健康に留意され、いつまでもガンバって下さい。

島原市・深江町に義援金 80万円を贈る

雲仙岳の噴火に伴う火砕流惨事は、毎日のように報道され、私達に大変なショックと不安を与えました。犠牲になられた方々に対し、心からお悔やみを申し上げます。とともに、被害を受けられた地域住民の方々にお見舞いを申し上げます。

被災地には、全国各地から義援金や援助物品が届けられています。本町でも、町の一般財源から四十三万二千円、町議会議員から九万円、渡辺町長以下町職員から二十七万八千円、合計八十万円の義援金を七月十五日、島原市と深江町の災害対策本部に贈りました。被災地域の一日も早い復旧と、長期間にわたり苦勞なされている被災住民・島原市・深江町の皆様方の生活が一日も早く安定しますようお願いものであります。

国土調査法制定四十周年記念を祝う式典が、去る六月十八日高知会館で行われ、本町で地籍調査を行っている担当職員等が表彰されました。

この国土調査は、昭和二十六年に国土調査法が制定され本年で四十周年を迎えました。

高知県でも、国土の調査が順次実施され、現在は本町を含む三十二市町村が地籍調査を実施しています。

大豊町では、昭和五十一年度

国土調査40周年

より地籍調査班を配置し、立川地区から実施、現在は西峯地区の調査を行っています。本町は、その面積も広く長期にわたる業務でもあり、又、完了を目指し担当職員一同も一生懸命に努力をしていますので、あなたの地域での調査には、ぜひともご協力下さいますようお願い致します。

四季を通じてかなりハードな仕事でもあります。

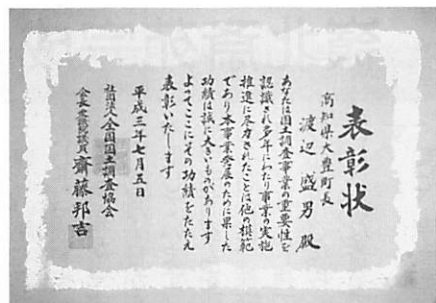
調査には、地権者の方々ははじめ地域の皆様方のご理解とご協力を頂きながら、早期

四十周年記念受賞者

(大豊町関係のみ)

※全国国土調査協議会長表彰

大豊町町長 渡辺 盛男



※全国国土調査協議会長感謝状

大豊町職員 北窪 康宏

※高知県知事感謝状

大豊町長 渡辺 盛男

大豊町職員 吉川 健栄

同 北窪 康宏

同 長田 群子

※県国土調査推進協議会長表彰

大豊町職員 長野 佳人

尚、高知県の国土調査推進協議会長に大豊町長が就任していますが、大豊町全体の調査が完了するのは、平成二十年頃になるのではないかということです。

ゆとりすと養成事業 中間報告

本年度も、平成二年度に引き続き「ゆとりすと養成事業（ソフト事業）」に取り組んでいます。

各地区や各種団体から要望のあった事業を、審議委員会（委員長・山下久寿喜他九名）で慎重審議し、住民のニーズにそった事業、また町の将来に向けての人材育成、地域の活性化、交流事業等々をこの「ゆとりすと養成事業」をもって対応する目的で、昨年度から町を上げて取り組んでいます。

◎ 本年度の主な要望事業

吉野川ワクワク冒険（小学生）
大豊町少年の翼（中・高校生）
青年海外研修（町内の若者）
花いっぱい運動（老人クラブ）
三世代交流事業（地域活動）
婦人活性化セミナー（婦人会）
町外視察研修（青年団員）
かたくな塾研修（かたくな会）
経営感覚養成講座（推進団体）
郷土料理研修会（推進団体）
少年スポーツ活動（指導育成）



国際交流キャンプ大会から

文化伝承事業（後継者育成等）
文芸誌の発刊（文推協）
町紹介ビデオ作成（大豊町）
営農活動推進（産業課）
この他にも各地域・各公民館・団体等の主催事業等も実施計画されていますが、順次紹介していきます。

こうした事業の中で、大豊の将来を担う子供たちに、町外から国外から自分たちの住む大豊町を考えてもらえたらと、町内の小学生五十名を対象に「吉野川ワクワク大冒険」吉野川を下り、香川用水、徳

島県の浄化施設、下水道施設の見学、また、中学生七名及び高校生四名を団員として、「大豊町少年の翼」ニュージランド国に派遣し、ホームステイなどを通して、生活体験や歴史、文化、環境を学び、青春時代の貴重な体験と視野を広めていただき、将来を担う青少年の育成を図るものであります。

「大豊町少年の翼」団員

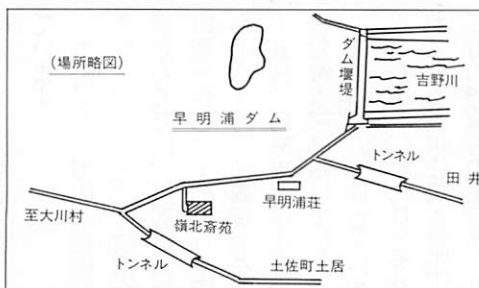
団 長 上村 仁 教育次長
副団長 杉本周二郎 公民館長
総 務 田中郷美 職員班長
指 導 長野英秀 大杉中教員
同 畑 伸生 大豊中教員
同 員 小笠原茂 大豊中
同 好永昌弘 同
同 中西 啓 同
同 岡本真由美 穴内中
同 吉川将人 大杉中
同 佐々木彩 同
同 佐々木真野 同
同 藤原絵里 高知高校
同 平石軌央 山田高校
同 川崎剣一 南高校
同 吉川浩平 農業高校
尚、団員については、作文公募及び学校推薦により決定。

嶺北斎苑完成

土佐町、本山町、大豊町の懸案事項でした「火葬場」嶺北斎苑が完成し、七月十日から稼働しています。早明浦ダムを眺める高台に、鉄筋コンクリート建ての近代的で落ち着いた立派な斎苑です。

【嶺北斎苑の使用料・手続き】

- ◎ 使用料
※火葬費＝12歳未満の者 10,000円
※ 同 ＝12歳以上の者 20,000円
※和室使用料（通夜・告別式） 5,000円
尚、構成町（大豊町・本山町・土佐町）住民以外の方を火葬する場合は、上記金額の2倍となります。
- ◎ 手 続 き（火葬許可申請手続き）
※申請書＝町役場窓口・嶺北広域事務所・嶺北斎苑にあります。



僕らおやまのガキ大将



この事業の説明と里親の対面式
里親は緊張・子供は？

農家に泊まり込み、農山村の生活や仕事を体験し、農業に理解をもってもらおうと、昨年度から実施している「僕らおやまのガキ大将」事業が、本年も、県農業改良普及所、林業指導所、町産業課農政班の主催により、七月二十九日～八月三日まで行われました。

農家に泊まり農作業の手伝いや地元の子供達との交流会等を通じ親睦を深めました。



関係者全員集合（農工センター）

町の子・山の子

交流



梶ヶ森での楽しいランチタイム
焼肉に挑戦、ほぼ満足顔？



広々とした渡辺牧場での牛追い
足元に注意、ころぶ子供も

町内の受入農家（五戸）

庵谷 河野徳晴さん方（二名）
同 西谷茂野さん方（二名）
同 三谷繁世さん方（二名）
東寺内 大和利三さん方（二名）
西土居 渡辺則夫さん方（二名）
また、農家での宿泊体験以外に「立川御殿の見学・そば作り・穴内川での水泳・林業教室・ハウス農家の見学・梶ヶ森でのキャンプ」等々が計画されましたが、事故等もなく子供たちは山村での体験を胸に帰路につきました。



今、穴内地区住民は、燃えに燃えている。

一昨年の「あなない玉手箱89（文化的行事）」に続き、昨年は「カルチャー教室・パソコン教室」などを開催、本年度は「あなない玉手箱91（イベント方式）」により、七月二十七日～二十八日の二日にわたり、地区を上げての取り組みが行われました。

本年の企画は、「カブト虫が出てくるヤァヤァヤー」と題して、カブト虫を介して、町の子と田舎の子との交流を図るとともに、山村の良さを知ってもらう目的で実施されました。

参加者は、ラジオや新聞を通じて募集された親子二十四組七十七名が、室戸市や高知

市から参加し、地元の穴内小・中学生と「カブト虫捕り・穴内川での水泳・ワラソー作り・お化け屋敷でのキモ試し」等々を通じ交流会がなされました。

あなない玉手箱 91

地域の皆さん汗だくで接待、誠に残念なことに、当日早朝より雨、受付時間前からは台風九号の影響が大雨、応援の青年、父兄、婦人会、そ



歓迎のカブト虫に仕立てた自動車

して穴内小・中学校の先生方、スタッフ全員が頭からびしょぬれになって、テントの設営や予定行事の変更などにおおわらわ。「ある参加者のお父さんは、地域の皆さんが一生懸命に取り組んで下さって感謝しています。頭が下がる思いです」。

十時過ぎからの歓迎行事の後、参加者たちは早々穴内川での水泳に走って行き、清流での水遊びに親子共々歓喜を上げていましたが、またも無情の大雨となり誠に残念。しかし、一部の予定行事に変更はあったものの二日間の行事を無事に終わり参加者たちも満足して帰途につきました。台風一過、穴内地区の皆様大変ご苦労さまでした。

立川森の中キャンプ

《雨の中決行》とうとう集会所に逃げ込む、でも楽しく和気あいあい思い出多い二日間でした。

町産業課観光班と立川仁尾ケ内加工部の主催による「立川森の中キャンプ」が、町外の参加者五家族二十名余で、去る七月二十七日～二十八日「二泊二日」で行われた。

二十七日午後一時、町役場前に集合現地へ。とうとう雨が降り出す中、まずは清流で親子のアメゴ釣り大会、雨の中傘をさし熱心に釣り糸をたれる親子清流に森林浴をかねて心のリフレッシュ、あちこちで親子のコミュニケーションが交わされる。

この後、子供たちによるアメゴのつかみどり大会等も行われ、歓声を上げて逃げまどう魚を追う子供、「お母さん捕まえた」とにっこり。三歳のけんた君、四歳のマミちゃんも、冷たい水にふるえながらの大奮闘。ボランティアの方々の手作りの夕食。食後は待望の蛍狩り。スタッフ一同、どうか蛍が飛んでいてくれ…と祈りながら川下に出かける。子供たちの「ホーホ、ホタルコイ」、歌声に一匹二匹と蛍が飛んでくる感激の二瞬。蛍の美しい光にみんなから歓声上がる。

二日目は、一部日程に変更がありましたが、おだんご作り、ワラ細工のソーリ作りに挑戦。悪戦苦闘の末やっと出来上がり、これ夏休みの工作にと「にんまりする子供も…」。昼食はカレーライス、おいし、おいしの連発。山里の楽しい思い出をいっぱいに屋過ぎ帰途につきました。

防災パトロール

危険個所の点検を

大豊町は、県下でも「地すべりや危険個所」の多い町です。

台風や大雨の季節になって参りました。災害は、何時どこでおこるやもわかりません。自分たちの住む地域の危険な場所等には、お互いに十分気をくばり、災害にあわない、災害をおこさないよう日頃から注意しましょう。

去る六月の土砂災害防止月間には、国・県の関係機関の



担当者や町の消防団長をはじめ、担当（総勢三十五名）が町内の危険地域七箇所を巡回視察しました。

◎ 桧生線の供用開始

桧生地区に通じている桧生線（起点・杉部落）は、国の制度「開拓地整備事業」により、平成元年から平成十年までの工事期間で（幅員四メートル・延長七二〇メートル）改良する計画です。

この度、平成元年度・二年度の工事が完了し、日本一の大杉の元から上方・三〇〇メートル）が併用開始されましたのでお知らせします。

地球の環境保全に熱きメッセージ

大田口小・東豊永小児童



世界三十カ国を回って、自然や環境に対する子供たちの絵や意見をまとめて本を出版しようとしている、米国人と英国人の二人が、ひょっこり大豊の地を訪れました。

この二人は、去る七月八日から定福寺のユースホステルに宿泊、九日は東豊永小学校、十日は大田口小学校を訪問、同校の五、六年生を対象に自然の美しさや大切さについて話し合い、世界へのメッセージを作り上げました。

大田口小学校では、刈谷校長先生から、米国の弁護士、

届け、私たちの願い

ランス・テンブルさんと英国の会計士、サイモン・マクラレンさんの二人が紹介された後、昨年十月から世界各国を回り、地球の環境保全を訴えて、本を出すために「世界各国の子供たちの絵や意見をまとめていること、日本の子供たちの絵や意見も出したこと、大豊の子供たちからのメッセージも必ず本に出す」と約束。

子供たちとの話し合いでは、「山や川で遊ぶことは好きですか」「木や花を愛していますか」「自然を守るためににはどのようにすれば良いと思いますか」等々について活発に意見の交換。

教室にもどり、絵や意見を書き、二人の外国人に別れを惜しみながら、自分たちから



のメッセージを託しました。二人は、昨年の十月から世界各国を回り資料を集め、来年の六月ごろに本を出版する予定、本が出来たら必ずみんなに送りますと約束をしていました。

これから二人は、オーストラリアやイランに行き、各国の子供たちと環境問題等について話し合い、資料を収集するとのことでした。

この日の通訳は、定福寺のお嬢さん釣井丈さんで、二人の外人の話を子供たちに伝え、子供たちの意見を二人に通訳するのに汗だくで奮闘していました。

大変ご苦労様でした。

近年、生涯を通じての健康管理に軽スポーツ等が注目され、町内各地域でそれぞれのスポーツを楽しむ方々がよく目につきます。

町の体育会でも、生涯スポーツの推進、町民一人一スポーツを目

指し、底辺の拡大を年間活動に上

げ取り組んでいます。

去る六月二十三日、大杉中

学校体育館にて、嶺北地域から小・中学生、一般の剣道愛



好者三百名余りが参加し、嶺北剣道大会が盛大に行われました。

大会行事の後、試合場では「メン・ドゥー・コネー」と、

気合のいった声が終日聞こえていました。

「試合場での『ぼれ話』ほらほら見てみや。子供より親の方が力がいっちゃんぜよ。子供も親も、ずるいうないねや。」

第30回嶺北剣道大会(盛合)

大会種別入賞者及び団体

◎小学一・二年生の部

優勝 岡部 誠 繁藤小

二位 岡林 智 同

三位 三谷浩平 大杉小

◎小学三年生の部

優勝 入野菜緒 大杉小

二位 山崎光明 東豊永小

三位 井上広和 大田口小

◎小学四年生の部

優勝 岡林高広 繁藤小

二位 岡部加奈 土佐町小

三位 山原沙織 大田口小

◎小学五年生の部

優勝 桑名佐苗 大田口小

二位 森尾 守 東豊永小

三位 桑名 誠 東豊永小

◎小学六年生の部

優勝 黒河 純 繁藤小

二位 上村昭仁 豊永小

三位 平石健太郎 豊永小

◎中学一年生の部

優勝 宮田一彦 土佐町中

二位 佐竹史年 同

三位 三谷孝之 大豊中

◎中学二年生の部

優勝 西村 明 大豊中

二位 中山 宗 本山中

三位 門田修一 大豊中

◎中学三年生の部

優勝 西谷直人 大豊中

二位 吉村 徹 大豊中

ナイターリーグ戦

始まる!!

町体育会ソフトボール部では、例年通りナイターリーグ戦を行っています。

その開会式が七月二十二日農村広場で行われました。

本年度の参加チーム数は、十八チームで昨年より一チーム少なくなりましたが、九月末まで白熱した試合が行われるものと思います。

リーグ戦登録チーム



チーム名 代表者
OBエンジェルス 滝本和明
落合クラブ 佐野信幸
EAST CLUB 下村幸正

三位 笹岡尚幸 大豊中

◎中学生女子個人の部

優勝 山下由香利 土佐町中

二位 大石文子 同

三位 山中奈美 同

◎一般初段以下の部

優勝 西村成樹 豊永

二位 上村 聡 豊永

三位 園路忠司 豊永

◎一般二段以上の部

優勝 高石清賢 土佐町

二位 中町和正 同

三位 小松忠司 大田口

◎小学生団体の部

優勝 繁藤チーム

二位 吉野教室

三位 豊永チーム

◎中学生男子団体の部

優勝 大豊中学校

二位 土佐町中学校

三位 本山中学校

◎中学校女子の部

優勝 土佐町中学校

二位 大豊中学校Aチーム

三位 同 Bチーム

◎一般団体の部

優勝 土佐町Aチーム

二位 大豊町Aチーム

三位 同 Bチーム

大田口愛球会

天神会

大豊ブルズ

船戸クラブ

ライフページ北窪

クロスリヤーズ

大田口クラブ

陸援隊

シルクロード

大豊町農協

小笠原精肉店

高銀丸

秋山齒科

ナヴィーズ

一揆クラブ

以上の十八チームが参加

米作り45年目に思う

東庵谷 西谷 茂野

例年三月頃になると、今年はその田に何を(品種)を植えようかと、その年の米作りについて考えます。

元々米作農家に生まれながら、農業は好きでなかった私ですが、老父母は六人の姉たち全員を農家に嫁がせ、私の場合も適齢期以前から「お前もどつしても田のある家に嫁にやらなければ」と口癖のように説教の明け暮れでした。そんなある日、突然叔父叔母のすすめで十八歳の春に無理矢理、水田約八十アール、畑二十アール位の農家へ嫁入りました。

それまでは、嫁入り先の家も知らず主人や家族と一度も話したことさえなかったのです。

戦時中、私は在学中でしたが、県外の軍服工場へ先生同伴で行かされた時、食欲の旺盛な年代に三カ月間でしたけれど、毎食ご飯が足らん足らん、親から数回食物を送ってもらったものでした。

「一回でもいいからお腹いっぱいご飯が食べたいネ」と友達と語り合った、あの時の食べ物のおりがたさは今では、まるでおとぎ話のようですが、おそらく生涯脳裏から消える事はないと思います。当時、増産、増産と叫ばれ



た時代から、四十数年経った今日では、打って変わって、ここ数年來は、転作減反の声

が高まって参りましたが、私の場合そんな言葉をさほど気にしないで、嫁いってから数えて四十五年目の米作をしており

ます。毎年の事です、私はなる

だけ農薬を控えて、植付後は、雑草の有無にかかわらず、適度にぬくもった水田に入り株間をさばさばと自分の手でかきまぜます。稲も私も、とても気持ち良く、一人で考え事や腰を伸ばし思い出のメロディーなどを口ずさみながらの田の草取りは、私の楽しい農作業の一つです。

「米はもういかん」と言われる一方、最近ぼつぼつ嬉しい言葉が聞かれます。

それは、普及所の指導で米消費拡大のための米料理講習会が開かれたり、その他、米飯学校給食献立コンクール等も行われ、私もこれに挑戦させて頂き嬉しい限りでした。

また、収穫の秋には新米を知人に送ったり、時節に合わせて、草餅や赤飯など、我が家とれた作物を手造りで老人や知人を訪問したときに届けるなど、農家ならではの幸せと楽しみです。

県外で勤務中の長男が定年退職まで関係機関や地域の人々のご支援を頂きながら、身体にムチ打って、余生も米作りに頑張りたいと思っています。

お知らせ

左記要項により、町文化推進協議会の文芸雑誌「ともしび」第二号を発行します。

表紙絵・原稿など振って応募下さい。

応募要項

一、表紙絵 「ともしび」にふさわしいもので採色は五色まで

一、原稿

詩 一人三編まで

短歌 一人十首まで

俳句 一人十五句まで

川柳 一人十五句まで

小説 制限なし

随筆 制限なし

論文 制限なし

その他

一、原稿締切

十月二十日

一、発行日

十二月二十日

一、原稿送り先

町教育委員会又は編集委員

一、編集委員

石原 正恒

徳弘 秀綱

猪野 義晴

都築 康代

北村 正昭

渡辺 則夫

西土居

尚、詳しくは、文化推進協議会事務局又は編集委員にお尋ね下さい。

皆様方からの投稿をお待ちします。



…文化推進活動に

ご協力をお願いします…



老人医療について

老人保健法により、70歳（ねたきり等の方は65歳以上）以上の方がお医者さんにかかるときは、医療保険証（国民健康保険、職場の健康保険、公務員の共済組合など）に加え老人医療受給者証を持っていくことになります。大豊町内で老人医療受給資格証を受けている方は、6月末現在で1630人です。

◎老人医療受給者証の手続きは次の通りです。

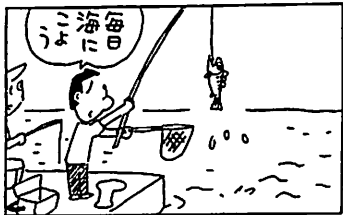
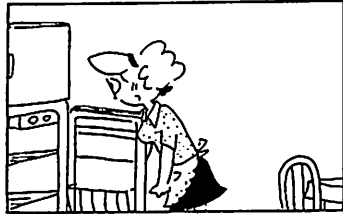
『こんなとき』	『持ってくるもの』
※70歳になったとき	1、医療保険証 2、認 印
※転入してきたとき	1、医療保険証 2、認 印
※転出するとき	1、老人医療受給証 2、認 印
※町内で住所を変えたとき	1、老人医療受給証 2、認 印
※医療保険が変わったとき	1、新しい医療保険証 2、認 印
※亡くなったとき	1、老人医療受給証（返還する）
※加入者でなくなったとき	1、老人医療受給証（返還する） 2、認 印
※生活保護を受け始めたとき	
※65歳以上で寝たきり等になったとき	1、国民年金証書、身体障害者手帳 2、医療保険証 3、認 印

詳しくは、住民課 保険班までお問い合わせ下さい。（☎72-0450）

役場から通知が来たら



かみかみ 宗



お誕生日おめでとうございます			
◎平成3年6月1日～6月30日受付 (8名)			
氏名	生月日	性	父 母
今井 陽介	5月24日	男	哲夫 千恵子
森下 直人	5月27日	男	孝 美智恵
小笠原早織	5月27日	女	新 真由美
豊永 直城	6月3日	男	浩一 和枝
小笠原優佳	6月11日	女	主仁 定子
小笠原沙耶花	6月14日	女	敏宏 とし子
北村 加菜	6月17日	女	卓司 充代
山崎 菜摘	6月21日	女	功 由利子
◎平成3年7月1日～7月31日受付 (5名)			
上村絵利加	6月25日	女	誉志男 茂子
都築 美幸	7月10日	女	政忠 美奈子
佐々木麻衣	7月12日	女	弘明 陽子
秋山 大造	7月13日	男	尊英 安子
吉永 広大	7月19日	男	和年 ミカ
元気に育て おおとよつ子			
			久寿軒
			穴内二
			安野々
			上桃源
			永 洵
			穴内二
			中央
			八 川
			大王下
			津 家
			杉 浦
			部 落

役場一般行政職員募集

大豊町役場では一般行政職員採用試験を次により行います。

第二次試験 一次合格者に対し、面接試験・作文試験

1. 受付期間
平成3年9月2日から9月20日まで
2. 第一次試験 (一般教養筆記試験)
日時 平成3年10月27日(日曜日)
場所 本山町プラチナセンター
(本山町569-1)

3. 合格発表
平成4年1月上旬頃本人通知及び掲示
- 尚、受験資格、受験手続、その他、詳しくは町役場行政課にお問い合わせ下さい。
(☎ (0887) 72-0450)

ご冥福をお祈りいたします

◎6月末日までの届け出 (9名)

氏名	死亡月日	年齢	性
高橋 信雄	5月31日	60	男
小笠原幸女	6月6日	92	女
原 敏恵	6月7日	81	女
朝日 窓子	6月10日	80	女
笹岡 顕嘉	6月13日	71	男
三谷 重於	6月16日	85	女
豊永 貞子	6月17日	77	女
山西 邦利	6月29日	78	男
高橋 利幸	6月30日	63	男
◎7月末日までの届け出 (5名)			
内田 隆成	7月5日	85	男
桑原 秋恵	7月12日	82	女
久保 菊尾	7月17日	86	女
藤村 市女	7月18日	84	女
都築鶴太郎	7月19日	88	男
津 家			
大畑 井			
川口 南			
西土 居			
川 戸			
葛 原			
上 東			
津 家			
八 畝			
八 畝			
和 川			
西 梶			
部 落			

8月は「道路をまもる月間」です

道路は正しく使いましょ

※道路についてのお問い合わせは、次の機関までどうぞ

◎国道 建設省 土佐国道工事事務所

高知市江陽町二二二 ☎ (0888) 821916

◎建設省 南国国道維持出張所

岡豊町八幡字藤ノ木七九二

☎ (0888) 621145

◎県道 高知県 本土木事務所 ☎ 7612105

◎町道 大豊町 役場建設課 ☎ 7210450

覚せい剤 たった一度が身の破滅



お知らせ
コーナー

覚せい剤でお困り
の方は、
県薬務課又は、
最寄りの保健所か
警察署へ、
お気軽に御相談
ください。

高知県・高知県薬物乱用対策推進地方本部

住宅金融公庫リフォームローンのお知らせ

受付期間 = 平成4年3月19日まで
融 資 額 = 最高490万円（工事費の8割）
他に100万円（特別加算あり）
金 利 = 当初10年間6.0%
11年目以降6.7%
返済期間 = 最長20年
◎詳しくは、最寄りの公庫取扱機関、又、住宅金融公庫四国支店 ☎(0878) 25-0511 にお尋ね下さい。

国の教育ローン（国民金融公庫）

高校や大学・専修学校・各種学校などの入学者や在学者は、国民金融公庫の「国の教育ローン」は、低利のうえ手続きも簡単なことから、これまで100万人以上の方々に利用されてきた制度です。
*ご融資限度額 150万円（ただし、在学中の費用は50万円）
*ご融資期間 5年以内（措置期間は、在学期間内・最長4年）
*ご返済方法 元利均等毎月払（ボーナス併用払可）
尚、詳しくは「国民金融公庫 高知支店 ☎(0888) 22-3191番」にお問い合わせください。

☆☆自衛官募集☆☆

わが国の平和と独立を守るために活躍する自衛官の公務は重要な国家の仕事です。

防衛庁では、人生に大きな目的をもっている若者を求めています。

＜募集等についてのお問い合わせ先＞

自衛隊高知地方連絡部 ☎(0888) 22-6128 又は、
大豊町役場住民課 ☎(0887) 72-0450 にお尋ね下さい。

警察官募集（お知らせ）

本山警察署より、平成3年度警察官採用試験実施についてお知らせします。

- 受付期間 9月2日から10月5日
- 一次試験 10月20日（日曜日）
- 試験場所 高知市小津高校・中村署
- 二次試験 11月12日及び13日（一次試験合格者に通知）

尚、受験手続・受験資格・その他の事項等は最寄りの警察署・駐在所にお問い合わせ下さい。

【試験は警視庁・大阪府警と共同で実施です】

◎七月・八月は、各地区で夏祭りやお盆の恒例行事が盛大に行われましたが、関係者の皆さんお疲れ様でした。
こうした昔からの伝統行事を保存し継承するのも、現在に生きる者の役目でもあろうかと思ひます。
秋は、文化祭や運動会等の行事が計画されています。
全市民のご協力とご参加をお願いするものであります。

鍵などは無用の村だ夕河鹿 三谷 幸正
廃屋に表れいまも梅雨茫茫 猪野 義晴
昂りは地に残しおく沙羅の花 徳弘 妙子
くちずさむ未完の一句花柳 杉本 賀美
風鈴の音色風の歌きこえます 松浦 美恵
鎌の刃を指でたしかめ草刈夫 長野としえ
逢えばまた逢える日の事東ね 吉川 邦子
このところ母の泣きぐせ梅雨 秋山 良恵
病めば 前野 由和
昨日の水消えぬ雨ガッパ

やまぐち

句会
作品抄